

会 議 録

会議の名称	平成25年度 第2回社会教育委員会議
開催日時	平成25年11月25日(月)午後2時00分~午後3時30分
開催場所	所沢市役所6階 604会議室
出席者の氏名	別紙のとおり
欠席者の氏名	別紙のとおり
説明者の職・氏名	
議 事	(1)社会教育関係団体の支援策について
会 議 資 料	資料1 「社会教育関係団体の支援策について」答申骨子案
担 当 部 課 名	教育長・内藤隆行、教育総務部長・平野澄彦、教育総務部次長・斉藤雅裕 生涯学習推進センター所長・比留間嘉浩、文化財保護課長・富田一成、 スポーツ振興課長・内堀耕介 教育総務部社会教育課 社会教育課長・浅野浩一、主査・原初枝、主査・古田晃一、 主査・橋本浩志、主任・石井のぶ江 教育総務部社会教育課 電話 04(2998)9242

所沢市社会教育委員会議 出席一覧

平成25年11月25日(月) 14時00分から 市役所6階604会議室

選出根拠	氏名	備考	出欠席
学校教育関係者	古屋 正明	所沢市立小中学校校長会 (三ヶ島中学校長)	出
学校教育関係者	渡辺 由美子	所沢私立幼稚園協会 (第三文化幼稚園園長)	欠
社会教育関係者	越川 輝代子	所沢市文化団体連合会 副会長	出
社会教育関係者	青木 幸子	所沢市子ども会育成会連絡協議会 副会長	出
社会教育関係者	佐野 喜代子	所沢市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会 (ガールスカウト埼玉県第36团团委員長)	出
社会教育関係者	古市 欣生	所沢市レクリエーション協会 副会長	出
社会教育関係者	日向 貴一	所沢商工会議所 青年部会長	出
社会教育関係者	加藤 和伸	所沢青年会議所 理事長	出
社会教育・家庭教育関係者	斎藤 高史	所沢市PTA連合会 会長 (所沢中学校PTA会長)	出
社会教育・家庭教育関係者	成田 桂子	所沢市連合婦人会 副会長	欠
家庭教育・学識経験者	染谷 哲夫	秋草学園短期大学教授 幼児教育学科	出
学識経験者	田部 真一	淑徳大学非常勤講師 (元市内小学校長)	出
学識経験者	前橋 明	早稲田大学人間科学学術院教授	欠
学識経験者	有地 好登	日本大学芸術学部教授 美術学科主任	出
学識経験者	関 直規	東洋大学文学部教育学科准教授	出

選出根拠 = 社会教育法第15条第2項

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
社会教育課長	【 1 開会】
教育長	<p>【 2 あいさつ】</p> <p>7月10日付で教育長に就任しました。どうぞよろしくお願いたします。過日行われた、学校現場と教育行政との教育懇談会において、社会教育委員の皆様には貴重なご意見を頂いた。以前、社会教育課に勤務していたが、社会教育委員の意見をいろいろな意味で重ねたりクロスさせたりする必要性を考えていた。教育懇談会は、そういったことからのささやかな一歩だった。この一歩を大事に考えていきたいと思っている。また、市民体育館は、開館から10年が経ち、先日の土曜日に10周年の記念行事を行った。本市では、市民体育館にて全国大会なども数多く開かれており、スポーツ振興の大きな役割を果たしている一方で、文化芸術の拠点としてミュージアムが大きな役割を果たしている。そうしたハード面を支え、かつ、地域に根付いた活動をしていくという意味では、公民館活動や地域の社会教育関係団体の皆様のご支援は、非常に大切なものである。所沢市の歴史を振り返ると、終戦直後の焼け野原の日本を再建しようということで、当時の文部省が社会教育法を制定して、社会教育の復権を掲げ、公民館の復権を掲げた勢いを、私たちは再度学んでいく必要があると思っている。当時の資料で、好きな文章があるので披露したい。時の文部大臣が社会教育法に寄せた文書の中で、「終戦直後の財政が厳しい時代に社会教育や公民館を訴えたとき、我々は常に形式にあらずして内容、言葉にあらずして精神を重んじなければならない。清潔に正当し、最も芸術的潤いと香り豊かな雰囲気は、自由と共に秩序、論理と共に倫理、実技と共に礼儀を尊重し実現する人々に、初めて養成しうるところである。」というような格調高い文章である。また、当時の文部省の課長は、社会教育法の根拠に社会教育の自由の獲得のために法制化した。そのように格調高い社会教育が、現在の教育の中でどのような位置づけになっているかということ、今回の議事の中にもあるが、学校教育法31条の中に子どもたちの体験活動が大事であると具体的にあり、「小学校においては教育指導にあたり児童の体験的な学習活動、ボランティア活</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>動、社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動の充実に努めるものとする。この場合において社会教育関係団体、その他の関係団体及び関係機関との連携に充分配慮しなければならないとい。」と規定されている。その意味からすると、現在検討をお願いしている社会教育関係団体の支援のあり方というのは、結果的には地域の活性化であったり、子どもたちの支援に関わるものだと思っている。限られた時間だが、そういった観点で慎重審議をお願いできればと思っている。</p> <p>教育長から格調高いという話があったが、私たちもこの雰囲気の中で格調高い議論ができればと思う。頂いた課題を私たちはまとめなくてはならない。ゴールは近づいてきた。いろいろな意見が出て絞られてきているので、今日はゴールを意識してまとめの方向にご意見、議論頂けたらと思っている。</p>
議長	<p>【 3 議事】</p>
事務局	<p>議事の 1、事務局より資料の説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>前回の資料の訂正と資料の説明を行う。資料は、前回の会議を受けて事前に田部議長、佐野副議長、関委員の意見を聞いて事務局でまとめたものである。</p>
議長	<p>今の資料の中で 1、2、3 というのは、私たちが協議をしてきたものを整理して 3 つに分けたものと読み取ってほしい。先ほど、ゴールが近いと話したが、今後のスケジュールの概要をお願いしたい。</p>
社会教育課長	<p>今年度は、2 月か 3 月にあと 1 回会議を開催する予定である。来年度は、5 月か 6 月あたりに第 1 回の会議を開催する予定であり、その 2 回で答申をまとめて頂ければと思っている。任期が 8 月までとなっているので、来年度第 1 回の審議の中で答申文という形でと</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
社会教育課長 （続き）	<p>りまとめて頂いて、修正等が必要な場合、例えば正副議長にお任せ頂く形になるとすると、本日を含めてあと 3 回議論をする時間があると思っている。</p>
議長	<p>3 回ということで、来年の 5・6 月には答申文にまとめたいということなので、それを視野に入れながら議論をお願いしたい。</p> <p>それでは、資料 1 の「1」「2」と「終わりに」、つまり「3」を除いたものについては、今までの議論のまとめであるので、今までの議論をまとめるという形でいかがか。</p> <p>《一同了承》</p>
議長	<p>それでは、本日は「3」の社会教育関係団体の支援策を中心に協議をしていく。これについても多方面から様々な意見が出ているが、そろそろ絞っていかうと思う。前回の会議で出された意見の中で、広報の工夫 から「ひらく」の という、3つの視点が出されて終わったかと思う。この3つの視点について、他に考えられる視点や、やはりこの3つに絞られる等、意見を頂きたい。</p>
議長	<p>意見がないようなので、この3点で進めていく。一つ一つ前回の意見をふまえながら答申につながるような意見を頂きたい。まず、広報の工夫について、前回はホームページ（以下、HP）の活用方法というものもあがった。また、市の生涯学習情報誌「翔びたつひろば」が市民に周知されやすいので、もっと活用できるように工夫ができないかという議論があった。この2点にプラスして、何かについて意見ををお願いしたい。</p> <p>前回事務局で大変努力して、市内の公民館のサークル活動一覧等、団体の一覧ができた。あのままではもったいないので、あの情報を有効活用できるような方法を、広報の工夫の中に盛り込めないかと思うが、皆さんいかがか。</p>
委員	<p>例えば、「翔びたつひろば」のスペースの拡充ということが可能</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>であれば、行事案内がジャンル別の分類になっているが、市で補助金を支給して力を入れている団体の活動と、個人の趣味で集まっている団体の活動が混在して載っている。もちろんスペースは、一個人の発想のものでも大切にしないといけないと思うが、ページを変えたり分類をしたりすることで、この表にあるような補助金・交付金を出している団体の企画しているところと区別して、あるいはそれらを少し目立つようにしてもいいのではないかと考える。みなさんのご意見を頂きたい。</p>
議長	<p>前回、「翔びたつひろば」がとてもPRに有効だという意見が出ていたが、その件についてはいかがか。</p>
委員	<p>会員を常に募集している団体と、そうでない団体とで違うかもしれないが、私が所属している団体では、会員を募集するために、いろいろな方法でPRしている。例えば、公民館にチラシを置くとか、同じ業界、私どもで言うとウォーキングの団体になるが、その会誌に載せる等、いろいろな方法を考えている。イベントにおいて広く市民に対して参加を呼びかけるということについては、「翔びたつひろば」の記事を見て参加したとか、参加したいがどうだろうかという問い合わせが大変多いし、イベントが成功することも非常に多いという経験がある。</p>
議長	<p>「翔びたつひろば」に関して、いかがか。</p> <p>皆さん頷いているので、同じような意見だということで了解した。ここでは今のような意義が大きいということで、具体的にどうするかについてまで私たちは言及できないが、広報にはとても有効なので、さらに工夫をして頂きたいというところで留めたい。これは、広報の工夫の一つとして盛り込んでいきたい。</p> <p>先ほど事務局からHPの活用というのも少し出たかと思うが、これについてはいかがか。</p>
委員	<p>HPの開設については、補助金によらない支援として重要なポイ</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>ントになると思う。社会教育関係団体フォーラムでこれまで4団体に活動実態を聞いたときに、共通する悩みの一つに、「広報活動は大事であるがなかなか難しい。その一つの理由として、技術的にHPを開設したり、更新したりすることが自分たちだけでは踏み込んでいけない。」というコメントが多かった。そういう意味でHPを開設するというのは、行政から補助金によらないサポートとして重要だと思う。前回事務局からの豊富な資料の中に、埼玉県や京都市の事例が具体的に出ていたが、埼玉県では、補助金交付団体の一覧を教育委員会のHPに載せている。京都市では、もう少し踏み込んで自分たちの日頃の活動について紹介してあったり、今の役員構成はどうなっているとか、あるいは、年間の活動報告なども簡単ではあるが載せたりしている。このような形で活動をPRしてもいいのではないか。広報活動について、社会教育委員の意見を聞き感じたことは、市民に知らせるといふ広報の意味もあるが、よりどういう部分をアピールすればいいかとか、どういう風に伝われば市民の生活と繋がるかとか、自分たちの日頃の活動を点検するという意味もあると思う。これからの検討課題であるが、そういった形でのサポートは効果的だと思うし、もしできれば、HPの開設について、各団体から来ている方がどのように考えているか、意見を頂きたい。</p>
議長	<p>知らせることの有効性と、これを機会に市民とどう結びつくか、自分たちの点検にもなり得るのではないかというような発言だった。今の意見について、団体から来ている方はいかがか。</p>
委員	<p>HPということだが、私どもが主宰している団体は、自分たちの力だけで一つのHPを立ち上げるというのは、デイリーの更新を含めるとなかなか管理が難しい。独自にHPを立ち上げることは、若い人だと簡単にやってしまうと思うが、年配の者には難しいので、HPを独自で持つということは課題があると思う。逆に市のHPを利用して、そこに投稿する形で載せられて、自分たちのメンテナンスはその都度考えるという形だと、比較的容易な感じがする。技術的なことで、若い方には考えられないような状態が年配の者には</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	あるので、その辺りが気にかかる。
議長	難しさはよくわかる。その辺りを含めていかがか。
委員	<p>ガールスカウト 36 団では無料のブログを開設しているが、アクセスは多い。コメントも多い。子どもたちの写真とか内容の詳しいことについては、やはりいろいろいたずらの的なものが多くて、パスワードがないと見られないようになっているが、それでもアクセスがあつて困る。非常に不謹慎なというか、嫌がらせの書き込みなども多くあるので、市の HP で管理してもらう中に、補助金関係団体等、社会教育関係団体の一覧としての HP を作って頂ければ非常にありがたいと思う。</p>
委員	今の意見については、賛成である。
議長	他にはいかがか。
委員	<p>P T A 連合会では、今のところ HP はない。今の意見についてだが、子どもがサマースクールに参加したとき、皆パスワードを入れてブログを見ていた。保護者など関係者は非常に興味があつて、私も子どもがどんなことをしているのだろうということで、度々見ていた。P T A 連合会の中でも HP を作ろうかどうか話をしたが、P T A 連合会も役員が変わってしまうので、若い人たちだが役員が皆変わってしまうので、基本的に情報をアップすることについて、現実的には難しいと感じている。例えば今の話のように、市にお任せでもいいのではないかということになり兼ねない。他の市町の P T A 連合会の HP をよく見るが、更新しているところもあるが、そうでないところも結構多いので、HP 開設について前向きに考えたい中で、どのように関わりを持つべきかを考えている。</p>
議長	時代の流れとして、HP というのは、やはり扱うべきものかと思うが、今のような課題もある。学校との関係でいかがか。

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>私はHPが苦手だが、学校では、学校だよりとかPTAの活動などに関して、それぞれ定期的に公開するようになっている。結果からすると、外部からの問い合わせを含めても、伝達の対象が広いと思う。前回の資料11において、市のHPでは、分野別でイベントの情報は掲載しているが、社会教育関係団体自体の情報は掲載されていないということであるが、もし社会教育関係団体の掲載があり、関係団体の名前や活動内容について、あるいはイベントの期日等がわかるようになるだけでも、市のHPを活用する事ができるのではないかと感じた。</p>
議長	<p>一般的に、HPというのは常識になってきている。そういう社会になってきているが、高齢になった人はそう簡単には開設できないという人もいるかもしれない。HPという方法と同時に、広く他の人たちにも何か提供する方法を、並行してできないか。その点についてはいかがか。私があまり話してはいけないが、冒頭に話した膨大な公民館等の資料をペーパーで見られるように工夫すれば、今のHPの弱点はカバーできるのではないと思うが、いかがか。</p> <p>事務局が大変かもしれないが、例えば、冊子にするか一枚の紙にするかはわからないが、公民館別ではなく、内容別などの一覧や冊子にできないか。この点も含めて、事務局と相談するという事によろしいか。他に意見はあるか。</p>
委員	<p>広報について、市民にとってどこに聞いたらいいのか、わかりにくいところがある。役所の窓口で訊ねたらいいのか、ペーパーの案内を頼りにいったらいいのか、公民館に聞いたらいいのか等、膨大な情報量かもしれないが、情報を一元化する方法が見つかれば、大きな項目から入って各分野につながる道筋ができ、市民の立場からわかりやすいのではないか。ネットの一覧から入る場合もあるし、数多い公民館の情報をまとめた大きなものから入っていく場合もあると思うが、情報の一元化という観点から考えていけるといいのではないか。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>HPの作り方ということになると思う。他に について何かあるか。</p>
委員	<p>HPは避けて通れない社会状況になると思う。ただ、見る人は見るが、見ない人は見ない。今はペーパーレスの時代であるが、若い人はスマートフォンなどで全て見ている。様々な団体の年配の世代は、HPを立ち上げることはできない。やはり専門家や詳しい方ではないとHPを立ち上げることはできないし、操作管理もできない。そのため、市役所などで一元化し、一元化されたHPからアクセスできるような形の管理システムを作ってもらえればいいのではないかと。団体にも周知し、このようなことを載せてほしいと内容を担当者に伝えるようにすれば、作成や管理もスムーズにいくのではないかと思う。しかし、人手が要るし、短い時間で終わるというものではない。依頼する方も書き方は違うし、何を載せるか選別しなくてはならない。できれば市役所でやってほしいが、創意工夫と検討が必要であるということしか今は言えない。</p>
議長	<p>これらの意見は結論であると思う。何かのHPを見ると、更新したのは3年前というようなものが多数ある。そのような課題もあるということも含めて、 については議論をこの辺で終わりにして、事務局とまとめていきたいと思う。</p> <p>の合同企画・代表者会議という名称が前回出たと思う。前会議での意見では、ガールスカウトが他の団体や学校と連携してもいいという積極的な提案をもらった。先日、今回の会議の打ち合わせをしたときに、学校行事の林間学校などでは、キャンプファイヤーのようなことを行うので、他の団体と連携してお手伝いしてもいいのではないかという意見がでた。少し時間が経ったが、この件についていかがか。子ども会あたり、今の件について意見や提案があるか。</p>
委員	<p>前回の会議では欠席だったが、会議録のガールスカウトの積極的な発言を見て、子ども会としても心強く思った。考えてみたことは、社会教育関係団体のネットワーク作りをしてもらって、こういう合</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>同企画であったり意見交換会を開くことによって、自分たちの団体の情報の発信ができたり、または他団体の情報を得ることもできる。そのようにして、人の交流ができあがっていくのではないかと。情報と人の交流ができると他団体への理解や、さらに他団体との協力ができる部分も生まれてくる。その交流からアドバイスを受けたり、刺激を受けて発想の転換ができたりして、プラスになることがたくさん見えてくるような気がする。発想の転換をする事によって、各団体の活性化が図れるのではないかと。若しくは、団体同士の交流が生まれることによって、人のつながりができて、人材不足の点でも助け合えるのではないかと。この合同企画・代表者会議というものは、大切な位置づけになってくるように思う。の各団体が、「ひらく」というところにつながる企画ができたらいいと考えている。例えば、5・6年生のインリーダー研修があり、内部で企画をして講師もする。23年もやっていると言ネリ化もしてくる。対象の子どもたちは毎年違うが、中身がマンネリ化してしまうので、現状に合っている研修内容を提供できているかどうかという疑問もある。そういったところに新しい風を吹き込むには、外からのご意見や、一緒にやっていく団体があると大変助かる。また、ジュニアリーダー養成講座という中・高校生を対象とした、夏休みに開催している講座もあるが、サマースクールで活躍している大学生の活動を実際に講座で見させてあげられるといいと感じているので、そういう情報も頂けたらありがたい。</p>
議長	<p>大変具体的で、前向きなご意見をいただいた。今のご意見の中で、インリーダー研修会とガールスカウトとの連携は可能だと受け止めていいのか。</p>
委員	<p>単独でやっている事業なので、そこに外部の方を取り入れて何かを企画することは可能である。</p>
議長	<p>今の件とは別に合同企画という点について、他にあるか。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>P T A 連合会では、例えば、サマースクールの P R をしたり、市民文化フェアの実行委員もしている関係で、各学校からボランティアを出してくれないかとか募った結果、去年よりも今年の方が増えたということがある。そういった関わりは非常にいいと思う。今、P T A も活動内容を精査しているところだが、社会教育関係団体には子どもたちが非常にお世話になっているので、どうか協力したい。ただ、合同企画というのは現実的に厳しい。単位 P T A が各学校にあるが、そこでの活動は、父母が働いている家庭が非常に多く、運営が厳しい中でなんとか頑張っている。その状況で、今以上に協力してくれというのは正直酷である。ただ、合同企画がだめというわけではなく、逆に他の社会教育関係団体と関わりを持ちたい。育成会にもいろいろお世話になっているし、協力要請もあるが、現実的に今の状況だと厳しいので、何か違う関わりを探していかなくてはいけないと感じている。</p>
議長	<p>前回から、一転突破というか、何かやればそこから何か生まれてくるのではないかという視点から話を進めてきているが、これについては、せっかくガールスカウトのご好意なので、なんとか活かせるような方向で、そして、私たちの趣旨である広くつながりが持てるようにすることが、今後の検討課題という事でよろしいか。他にいかがか。</p>
委員	<p>合同企画が各団体で生まれるにも、おそらくどこかで巡り会ったりする機会がないと生まれようがないのではと思っている。文化フェアは、各団体や多くの方にお手伝い頂き、出会う機会になっている。代表者会議という意見も出ているし、是非、団体が出会うきっかけを作っていくように考えていくことが、まず必要だと感じている。</p>
委員	<p>関連して、今の発言と同じ趣旨だが、先日、新しい教育長の呼びかけで学校教育と社会教育の合同懇談会があった。学校教育における様々なプログラムの紹介があり、それを社会教育委員が聞くとい</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>う流れだった。初めての体験だったが、とてもいいことだと思う。そういう交流をしてすぐに何か生まれるということではなく、時間が必要かもしれないが、困っていることなどをお互いに発言できる場があれば、もっと社会教育関係の団体にも協力できる場面があるかもしれないと思った。学校教育と社会教育という関係のように、さらに社会教育関係団体の中でも、今発言があったとおり、こんな活動をしていて、こんなことが問題で困っているということを意見交換できれば、その部分はこちらから助けようというように、だんだん発展していくのではないか。市の方でそういう交流会をするのは、そんなにお金がかからないだろうと思うので、そのような交流ができる場を企画してもらおうということも、今後の発展のために必要ではないかと感じた。</p>
委員	<p>大きな形での代表者会議というのは難しいと感じる。学校教育の立場から言うと、例えばガールスカウト、文化団体連合会等いろいろな組織があるが、学校と、そのような組織がつながりを作り上げていくことが、社会教育と学校教育のつながりを強くしていくと思う。こういったことで学校教育と関わっている、こういったことで家庭教育と関わっているといったテーマで、各団体の情報交流の機会があってもいいのではないか。</p>
議長	<p>学校教育との協力についていかがか。</p>
委員	<p>11月14日、15日と日光の社会教育研修会へ行って来た。そこで、川島町の社会教育委員の発表があり、行政より問題を提示されて、それに回答するというのではなく、社会教育委員は沢山の会議を重ねて何が必要かを話し合い、地域の人と連携しながら活動しているということであった。活動の例として、食生活についての取り組みがあげられていた。最近では手作りのものを食べずに、コンビニで買っている方が多いので、保健師や料理をする人を交えて、市民の皆さんに、簡単に手作りできるようなものをということを広めようということで、社会教育委員が市民の皆さんをコーディネ</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員（続き）	<p>ネートして、間に入って町を活性化するといった話だった。私は目が点になってしまった。日頃、文団連の中でも、自分の好きな道で伝統芸能だけを伝えてきたが、どの団体も若い人が少なくなり、年配の人が多くなっている。学校の子どもたちのところへ教えに行くと言うと、とても目を丸くして感動した様子を見せる。それは年に何回もあるわけではないし、新たなものでなくて、伝統芸能のように既存のものを教えて広めているに過ぎないが、子どもたちが感動したということのを伺う。さらに発展させられるような形になればと思う。</p>
議長	<p>それでは、合同企画・代表者会議というキーワードがあるが、平成 23 年度からフォーラムを 2 回行ったが、新しいことをたくさん知ることができてとても良かったという発言が多くあったので、私たちが目標とするものに、これをどう結び付けていくか。これをもって発展させる形で、例えば、発表の団体をもっと増やしていくとか、別のところをお願いするというようなことも、底辺を広げる P R という意味も含めて必要であると、私自身は前回も考えた。これについては、そういう方向でよろしいか。</p> <p>《一同了承》</p>
議長	<p>それでは、それを発展させていくということで、どんな形になるか。また、団体の調査の結果、人材不足という問題が出たが、そういう意味でも発展的に何か計画できればと思う。</p> <p>最後に「ひらく」というテーマについてだが、これは行きたいと思っている人がなかなか行けないというような話があった。前回も今日の話の中でも少しダブる部分があるかもしれないが、「ひらく」というテーマについていかがか。広報の工夫も実はそれに繋がっていくし、代表者会議もひらくということに繋がっていくわけだが、とりたててこの各団体が「ひらく」というテーマについて何か意見があったらお願いしたい。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>「ひらく」というのは、団体側から来てくださいというような、オープンにしていくという意味なのか、事業を開催するとかではないということか、「ひらく」という意味が前回欠席していたのでよくわからないので確認したい。</p>
議長	<p>ことばはいろいろな捉え方があるが、ここで使った「ひらく」は、みなさんがそれぞれ団体で活動しているが、それが見えないという意味でもっと見えるようにできないか。また、各団体で人材不足が課題だが、人材育成ということにつながることはないかという意味であった。</p>
委員	<p>今年は青年会議所の理事長になって様々なところへ出席するようになったが、先ほど広報のところでも話があったように、単独でHPを作るのはやはり費用と手間がとてもかかるので、どの組織もやりたがらない。やはり市のHPからコンテンツという形で、各ページを1ページずつ作って頂くと、費用もそんなにかからないのでできるのではないかと。団塊の世代がどんどん定年を迎えていく中で、年配の方々でもこれからパソコンを覚えていこうとしている方や、まさに今やっている方が結構多い。HPというのはそれほど紙や費用も必要としないし、自分の団体のPRや、人材を獲得していくという意味でも、広報がとても重要になってくる。先ほどの代表者会議でフォーラムという話もあったが、フォーラムをやるにはPRをしないと来て頂けない。そういった意味でも、原点となるのが広報であるし、社会教育関係団体を支援していくにはとても重要なことである。青年会議所では予算を立てて、メンバーから会費という形で集めているし、メンバーを増やせば自分の活動の範囲も広がっていくので問題ないが、社会教育関係団体はそういう団体ではないと思っている。限られた予算の中で、最小限に抑えられる広報・HPといったようなものを活用して支援していく形であれば、の「ひらく」という意味でも、情報公開もできて人も集まり、組織が活性化していくということもできるのではないかと。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長	<p>HPの作り方、工夫にも関わってくるかと思う。私が一番引っかかっているのは、どの団体も一生懸命やっているが、後継者不足あるいは人材不足ということが、共通しているアンケート結果だったと思う。この辺り、何か提案はないか。</p>
委員	<p>今、高齢社会という話も出ていて、一方で仕事や子育てから解放されて、様々な職業経験や家庭での子育て経験を持つ方が、地域の中で沢山増えているという見方もできる。そのような方たちが、何か社会参加とか地域参加ができないかという思いを、密かに持っている可能性もある。ただ、そのきっかけや情報やタイミングの問題で、一步踏み出せないという状況があるようにも思える。一つの新しい社会教育行政のあり方として、直接、知識や情報を提供するというよりも、ボランティアを養成するという社会教育行政のスタイルもいいのではないかと。例えば、ボランティア講座を企画して、社会教育関係団体の方々が講師という形で講義を行う。冒頭の教育長のあいさつにもあったように、子どもの体験活動が社会教育では大変重要であるということだが、実は、そのノウハウとか経験を持つ団体が社会教育関係団体には沢山あるので、そういう方たちが講師となって、子ども支援のためのボランティア養成という形で、団体の合同企画で行う。そこに市民の方に参加して頂き、基礎的なスキルや姿勢など、支援者として役割を習得した方が、例えば社会教育関係団体に一日体験で参加するなど、そういう形で市民に「ひらく」ということにつながるのではないかと。そういった視点を意識して、そこから市民の方たちのボランティア活動への意欲も尊重しつつ、かつ人材不足も解消できるようなネットワークやつながりのひらき方というのは、あってもいいのではないかと。</p>
議長	<p>例えば、ボランティア養成講座とした場合、それを修了した人は自信を持って何かに関わることができる。ある面では、眠っている人に活躍してもらおうきっかけになるのではないかと。ぜひ検討していく方向として、項目の中に入れて頂きたいと思う。規模とかやり方はいろいろあるだろうが、要は、市が計画したそういう講座を習得</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
議長（続き）	<p>したと、自信を持って関わることができ、やってみようかなという意欲もでてくるのではないか。「ひらく」というテーマについて、何か他にご意見はないか。</p>
委員	<p>「ひらく」とか、広報や代表者会議といったことだが、ジャンルごとに、例えば健康関係や芸術関係等いろいろな分野があると思うが、その人たちが集まって、持っている悩みとか、これからの希望等を話し合う情報交換の場を設けることが、いろいろな意味での「ひらく」ということにつながってくるのではないか。ジャンルごとでもいいし、地域ごとでもいいので、いきなり大きく所沢全部でなくても、小さいところから見ていくことが必要であるのではないか。</p>
議長	<p>貴重な意見だと思う。先程の資料を、どう編集し直すかによっても、そのような意見が出てくるのではないか。それでは、はこの辺で終わりにしたい。次回は今日の意見を事務局にまとめて頂き、答申案にほぼ近い形で、微調整にとどまるくらいにしてもらえるとたいへんありがたいと思う。事務局いかがか。</p>
社会教育課長	<p>様々たくさんのご意見を頂き、いくつかの方向性が見えたということと、いくつかの具体策も頂けた。また、それ以上にたくさんキーワードを頂けたと思う。答申案の素案ができるかどうかは、会議録を精査して、次回までになんらかの形ができたかと考えている。</p>
議長	<p>心強い言葉をありがとうございました。また私と副議長も参加してまとめていきたいが、是非関先生にもご専門の立場でご足労願えればと思う。</p> <p>それでは、今日の諮問に関する議論は終わりにしたいが、最後に何かあるか。それではその他ということで事務局にお願いしたい。</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>【 4 その他】</p> <p>事務局に代わって、人間地区社会教育委員部会長の古市委員より松井公民館で行われた人間地区社会教育委員研修会の報告と、2月に中央公民館で行われる人間地区生涯学習フォーラムの予定について報告があった。</p> <p>事務局より関東甲信越静社会教育委員研究大会の報告と、成人のつどいの予定と協力について報告があった。</p>
議長	<p>最後に、これから代表者会議を発展的に考えるにあたり、補助金団体 17 団体は、是非参加して頂く形で周知をお願いしたい。補助金についてはこの会議で承認しており、税金を使っている団体であるので、そのようをお願いしたい。</p> <p>進行を事務局にお返しする。</p>
社会教育課長	<p>【 5 事務連絡】</p> <p>スポーツ振興課より、シティマラソンの報告を行った。</p>
佐野副議長	<p>【 6 閉会】</p> <p>答申の骨子もだいぶ進み、ほっとできると思うが、まだまだ残っているのでよろしくをお願いしたい。これから寒さに向かうが、体調には気をつけて次回の協議をお願いしたい。</p> <p>《以上で終了》</p>